



富士山御殿場口
雪代堆積地の
侵入植物

特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会

初版 2016年3月

はじめに

現在の富士山は、約1万年前からいくつもの噴火を繰り返して形成された火山です。そこに生息する生物は、酷寒、高温、乾燥、崩壊など、過酷な環境の中で、微妙なバランスを保ちながら富士山固有の生態系を築いてきました。

富士山では、他の地域には見られない特有な植物相が成立しており、同じ種であっても形や質に違いがあることや、特色ある種が生育するなど大変貴重な環境が見られます。

私たちは、こうした富士山固有の自然環境を保全、復元し、後世に引き継ぐために活動をしています。

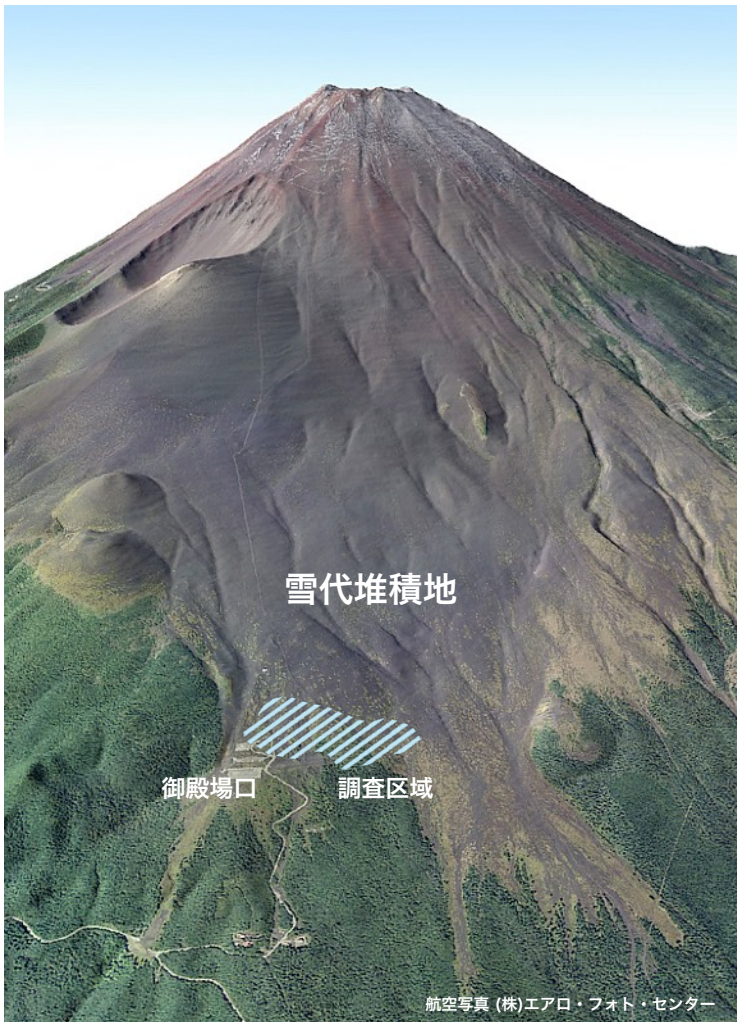
生物多様性条約にも明記されている通り、近年、生物多様性の保全が重要な課題となっています。生物の多様性というと、生物の種類が多いことだと思いがちですが、遺伝子・種・生態系の三つの観点から多様性を考えなければなりません。それぞれ異なった場所にそれぞれ異なった生物が生息しているということが重要なのです。

生物は数が減って小集団になると加速度的に絶滅への道を急ぐこととなります。今まで存在しなかった生物が侵入することで集団のバランスが崩れ、生存力が一気に低下して永遠に再生不能という事態が心配されます。

富士山固有の生物多様性が崩壊するということは、連綿と引き継がれてきた富士山の自然的、文化的遺産そのものを放棄することになります。

私達は、いくつもの団体、有識者と連携しながら、御殿場口雪代堆積地の生物多様性に影響を及ぼすかもしれない侵入植物の調査を行ってまいりました。

この冊子は、その結果を取りまとめたものです。私たちは、これを基に皆さんの協力を頂きながら、侵入植物等の除去活動に取り組み、自然環境の保全に努めて参りたいと考えています。



雪代堆積地

御殿場口

調査区域

航空写真 (株)エアロ・フォト・センター

■ 帰化植物

このハンドブックでは江戸時代末期から現代にかけて入ってきた外来植物を指します。

■ 史前帰化植物

在来種とされていますが、有史以前の縄文、弥生時代にかけて畑作や稲作など栽培植物に随伴して渡来した植物です。従って田畑や人家周辺が主な生育場所になります。

和名及び科名は米倉浩司・梶田忠(2003-)「BG Plants 和名-学名インデックス」によります。

9月 調査地で撮影した月です。

資料写真

麓などで撮影した写真です。標高の違いで調査地と成長および花期が異なるため記録月に入れていません。

掲載種について

このハンドブックには2014年11月～2015年10月に記録した侵入植物と富士山自然誌研究会の調査による2001年(8種)および2010年(27種)の記録を合わせた91種を掲載しました。

写真が無い植物は図鑑をご参照ください。

掲載植物一覧

- | | | | |
|----|---|----|--|
| 5 | アオカモジグサ アキノノゲシ | 26 | スベリヒユ ○ セイタカアワダチソウ △ ○ |
| 6 | イヌガラシ ○ イヌタデ ○ | 27 | セイヨウタンポポ △ ○ タケニグサ |
| 7 | イヌホオズキsp. ○ イヌワラビ ○ イワニガナ(ジシバリ) ○ | 28 | タチイヌノフグリ △ ○ タチカモジ タチツボスミレ(※3) ○ |
| 8 | エノキグサ ○ エノコログサ ○ オオイヌタデ | 29 | タンソバ タネツケバナ ○ |
| 9 | オオイヌノフグリ △ ○ オオニシキソウ △ ○ | 30 | チガヤ ○ チドメグサ ○ |
| 10 | オオバコ ○ オダマキ栽培種 △ ○ | 31 | チャガヤツリ ○ ツメクサ ○ |
| 11 | オッタチカタバミ △ ○ オニノゲシ △ ○ | 32 | ツユクサ ○ ツルボ |
| 12 | オヒシバ ○ オヘビイチゴ ○ オヤブジラミ ○ | 33 | トキワハゼ ○ トキンソウ ○ ドクダミ ○ |
| 13 | オランダミミナグサ △ ○ カキドオシ ○ | 34 | ナガミヒナゲシ △ ○ ナギナタガヤ △ |
| 14 | カナムグラ カヤツリグサ ○ カラスビシャク ○ | 35 | ナズナ ○ ニガナ |
| 15 | キツネノボタン ○ キツネノマゴ キラソウ ○ | 36 | ニワゼキショウ △ ○ ノビル? ○ |
| 16 | クサイ ○ クズ | 37 | ノミノフスマ ○ ハキダメギク △ ○ |
| 17 | ゲンゲ △ コゴメガヤツリ ○ | 38 | ハハコグサ ○ ハルジオン △ ○ |
| 18 | コナスビ ○ コヌカグサ △ ○ | 39 | ヒメオドリコソウ △ ○ ヒメジョオン △ ○ |
| 19 | コハコベ △ ○ コブナグサ ○ | 40 | ヒメスイバ △ ○ |
| 20 | コモチマンネングサ ○ ザクロソウ ○ | 41 | ビロードモウズイカ △ |
| 21 | シソ ○ シバ シロザ ○ | 42 | ヒロハノウシノケグサ △ ブタクサ △ ミドリハコベ ○ |
| 22 | シロツメクサ △ スギ(※2) | 43 | ミミナグサ ○ ムシトリナデシコ △ |
| 23 | スギナ ○ | 44 | ムスカリ △ ○ ムラサキサギゴケ メヒシバ ○ |
| 24 | ススキ スズメノカタビラ ○ | 45 | メマツヨイグサ △ ヤハズエンドウ ○ |
| 25 | スズメノテッポウ ○ スズメノヤリ | 46 | ユウゲショウ △ ○ ヨツバムグラ |

△ 帰化植物
○ 人家周辺や畑などでよく見られる植物

アオカモジグサ (イネ科) 畔、道端、土手、原野など

6月



アキノノゲシ (キク科) 道端、林縁、草原など



資料写真

イヌガラシ (アブラナ科) 畦などやや湿った場所に生育する



イヌタデ (タデ科) 畑や道端などに生育する



イヌホオズキsp. (ナス科) 畑、道端など

11月

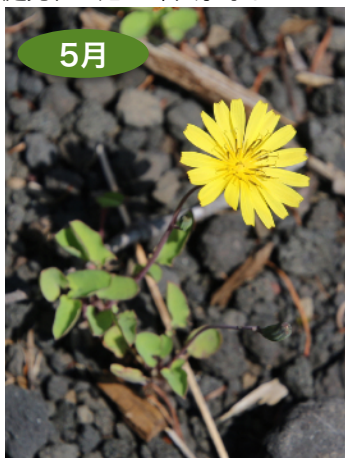


イヌワラビ (メシダ科)
庭先、藪陰、原野など



6月

イワニガナ(ジシバリ)
(キク科)
庭先、田畑の畔、原野など



5月

■ エノキグサ
(トウダイグサ科) 畑、道端など



■ エノコログサ (イネ科)
土手、堤防、原野など



■ オオイヌタデ (タデ科) 都市部の空地、道端など



■ オオイヌノフグリ (オオバコ科) 畑の縁、道端など

10月



資料写真

■ オオニシキソウ (トウダイグサ科)
道端、都市部の空地など

10月



オオバコ (オオバコ科) 庭先、道端、荒地など

5月



オダマキ栽培種 (キンポウゲ科) 園芸栽培

6月



■ オッタチカタバミ (カタバミ科) 道端、都市部の空地など



■ オニノゲシ (キク科) 道端、荒地など



■ オヒシバ (イネ科)
園地、道端など

植物図鑑をご参照ください

オヘビイチゴ (バラ科)
田畑、原野など



資料写真

オヤブジラミ (セリ科) 都市部の空地、荒地、藪陰など

6月



資料写真

資料写真

■ オランダミミナグサ (ナデシコ科) 庭先、道端など



資料写真

カキドオシ (シソ科) 藪陰、道端など



資料写真

カナムグラ (アサ科) 道端、林縁など

7月



カヤツリグサ

(カヤツリグサ科) 畑、道端など

植物図鑑をご参照ください

カラスビシャク

(サトイモ科) 畑

6月



キツネノボタン (キンポウゲ科) 田畑の畔、道端など

6月



キツネノマゴ(キツネノマゴ科)
土手、道端、原野など

キランソウ (シソ科)
田畑の畔、土手、堤防、原野など

10月



6月



クサイ (イグサ科) 道端、園地などの湿った場所



クズ (マメ科) 荒地、林縁、原野など



■ ゲンゲ (マメ科) 田

10月



資料写真

■ コゴメガヤツリ (カヤツリグサ科) 畑、道端など

11月



コナスビ (サクラソウ科) 庭先、土手、原野など

6月



コヌカグサ (イネ科) 道端、原野など

6月



■ コハコベ (ナデシコ科) 庭先、道端など

11月



コブナグサ (イネ科) 田畑の畔、原野など



■ コモチマンネングサ (ベンケイソウ科) 庭先、道端など

6月



■ ザクロソウ (ザクロソウ科) 畑、道端など



シソ (シソ科) 庭先、畑など

10月



シバ (イネ科)
道端、土手、草原など

7月



シロザ (ヒユ科)
畑、道端、荒地など

資料写真



■ シロツメクサ (マメ科) 田、土手、堤防、道路法面など



スギ (ヒノキ科) 低山地に植栽



スギナ (トクサ科) 都市部の空地、畑、道端、原野など



資料写真

ススキ (イネ科) 土手、堤防、原野、林縁など



スズメノカタビラ (イネ科) 庭先、畑など



スズメノテッポウ (イネ科) 田畑

6月



スズメノヤリ (イグサ科) 土手、堤防、原野など

6月

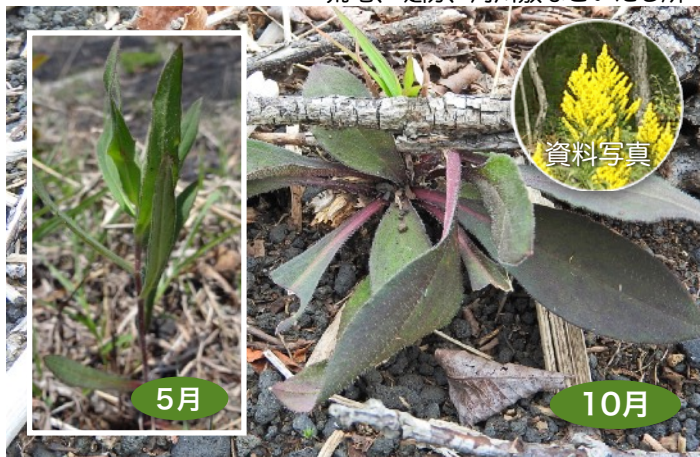


スベリヒユ (スベリヒユ科) 畑、道端など



セイタカアワダチソウ (キク科)

荒地、堤防、河川敷などいたる所



■ セイヨウタンポポ (キク科) 都市部の空地、道端など

6月



タケニグサ (ケシ科) 都市部の空地、原野など

6月

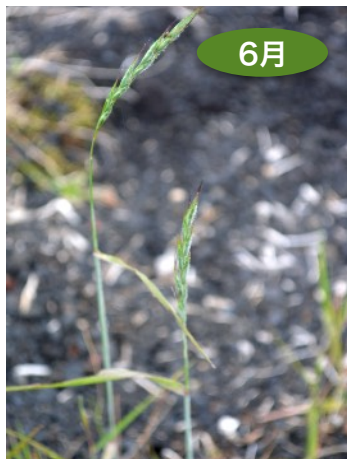


■ タチイヌノフグリ (オオバコ科) 畑の縁、道端など



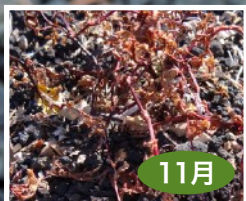
タチカモジ (イネ科)
畔、道端、土手、原野など

タチツボスミレ (スミレ科)
林床、林縁、原野など



タニソバ (タデ科) やや山地の畑、原野、林縁など

9月



11月

タネツケバナ (アブラナ科) 田畑、道端、林内の小川など

10月



資料写真

チガヤ (イネ科) 田畑の畔、土手、堤防、原野など

11月



資料写真

チドメグサ (ウコギ科) 庭先、道端など

11月



チャガヤツリ (カヤツリグサ科) 畑、道端など



ツメクサ (ナデシコ科) 庭先、道端、路面間隙など



ツユクサ (ツユクサ科) 道端、林縁など

10月



ツルボ (キジカクシ科) 土手、堤防、林縁など

10月



トキワハゼ (サギゴケ科)
庭先、道端など

トキンソウ (キク科)
庭先、畑など



ドクダミ (ドクダミ科) 庭先、道端、藪陰などの日陰地



■ ナガミヒナゲシ (ケシ科) 道端、都市部の園地など

7月



■ ナギナタガヤ (イネ科) 道端、土手、堤防、道路法面など

6月



ナズナ (アブラナ科) 田畑、道端など



ニガナ (キク科) 田畑の畔、土手、堤防、原野など



■ ニワゼキショウ (アヤメ科) 道端、園地の芝地など



ノビル? (ヒガンバナ科) 畔、土手、堤防など



ノミノフスマ (ナデシコ科) 田畑

7月



資料写真

■ ハキダメギク (キク科) 畑の縁、道端など

9月



■ ハハコグサ (キク科) 庭先、畑、道端など

11月



■ ハルジオン (キク科) 道端、土手、堤防など

6月



■ ヒメオドリコソウ (シソ科) 畑の縁、道端、荒地など



■ ヒメジヨオン (キク科) 道端、土手、堤防など

6月



■ ヒメスイバ (タデ科) 畑、道端など



■ ビロードモウズイカ (ゴマノハグサ科)

都市部の空地、道端など



■ ヒロハノウシノケグサ(イネ科)

■ ブタクサ (キク科)

道端、土手、堤防、道路法面など

荒地、堤防、河川敷など

植物図鑑をご参照ください



ミドリハコベ (ナデシコ科) 畑、道端など



資料写真

■ ミミナグサ (ナデシコ科) 田畑

9月



■ ムシトリナデシコ (ナデシコ科) 空地や河川敷など



■ ムスカリ (キジカクシ科)
園芸栽培



■ ムラサキサギゴケ
(サギゴケ科) 田の畔などの湿った場所



■ メヒシバ (イネ科) 畑、道端、原野など



■ メマツヨイグサ (アカバナ科) 都市部の空地、道端など



ヤハズエンドウ(カラスノエンドウ) (マメ科)
田畑の畔、土手、堤防など



ユウゲシヨウ (アカバナ科) 畑の縁、道端など

11月



ヨツバムグラ (アカネ科) 林縁、原野など

6月





調査日 2014年 11月15日(予備)
2015年 5月27日・5月31日(補足)・6月20日
7月19日・9月6日・10月4日

協力 (敬称略)

現地調査・同定・監修

元静岡県自然環境調査委員会植物部会員 佐藤孝敏

現地調査・同定

富士山自然誌研究会植物部会 大嶋章 大嶋よし子

調査補助および写真撮影

佐藤政幸

NPO法人ホシガラスの会

調査資料 富士山自然誌研究会

資料写真 磯田進 石川美智子 勝又幸宣

ホシガラスの会について

ホシガラスは高山の森に住んでいる野鳥です。白い斑点がたくさんあって、その模様が満天にきらめく星空に似ているところから、"ホシガラス"と素敵な名前が付けられました。

ホシガラスは秋になると森のあちこちに木の実を隠して貯めておく習性をもっています。

ホシガラスに埋められたまま残った種が、やがて、芽を出して、ホシガラスの子孫たちのエサとなる実をつける木に育ち、自然の森づくりに役立っているのです。また、山が崩れて森が失われた所などにもホシガラスは木の実をたくさん埋めるので、森を再生する鳥としてもよく知られています。富士山の森にも、ホシガラスが埋めた種が育って成長したと思われるブナの巨木も見つかっています。森の木とホシガラスは、木の実のやり取りをとおして、互いの命をつなぎ子孫を残す森の自然環境をつくり、守っているのです。

ホシガラスの会は、私たちのふるさとである富士山の森を学び、親しみ、そして守りながら、未来の子供たちに永く残していこうと、誰もが参加し活動できる会として立ち上がりました。そして、会の名前を、自然の森づくりの先輩であるホシガラスにちなんで、ホシガラスの会と名付けました。

ホシガラスの白い星の一つ一つは、ふるさとの森を愛する市民一人一人のしるしです。富士山の森を守るために、ホシガラスの会の活動に参加して、羽ばたきましょう！



特定非営利活動法人富士山の森を守るホシガラスの会

〒412-0006 静岡県御殿場市中畑1691-14

TEL 0550-89-6905 FAX 0550-73-0434

ホームページ <http://hosigarasu.org>

Eメール info@hosigarasu.org

この冊子は御殿場市市民協働型まちづくり事業として作成しました